



100歳以上高齢者への市長訪問

9月2日(火)に市長が今年度中に100歳以上になられるかたを訪問し、直接ご本人に記念品とお祝い状を手渡しました。また、和風園とあしや聖徳園およびあしや喜楽苑へも訪問し、入所者のかたを激励しました。

交通事故は予期せぬ時に起こります。痛ましい交通事故をなくすため、どんなことに気をつければよいのでしょうか…。

秋の全国交通安全運動実施

— 9月21日(日)～9月30日(火) —



運動の重点目標

1. 高齢者の交通事故防止
2. シートベルト着用の徹底

問い合わせ
道路課交通安全係 ☎38-2063

1997年(平成9年)9月15日号

No.732

毎月1日・15日発行

発行/芦屋市役所(広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

老人保健医療費のお知らせ

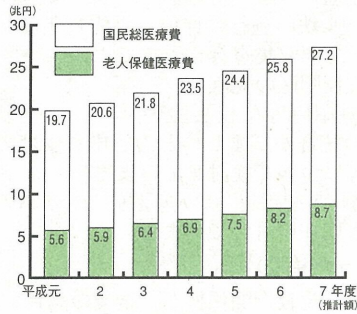
平成7年度の国民総医療費は約27.2兆円にのぼり毎年およそ6%ずつ増えています。金額にすると約1兆円ずつ増加していることとなります。

約27.2兆円のうち70歳以上のかたの老人保健医療費は8.7兆円にのぼり、全体の約32%を占めています。老人保健医療費の財源は各健康保険からの拠出金と国、県、市からの負担金と本人の一部負担金でまかなわれており、国民みんなで負担しているのです。

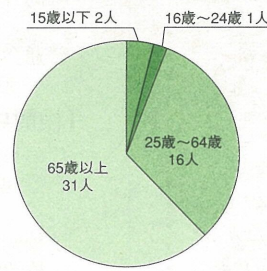
このように多くの人々によって、支えられている制度ですから、一人一人が自分の健康づくりに積極的に取り組み、必要なときには正しい受診を心がけていただくことが大切です。

問い合わせ 保険年金課医療助成係 ☎38-2037

国民総医療費と老人保健医療費の推移



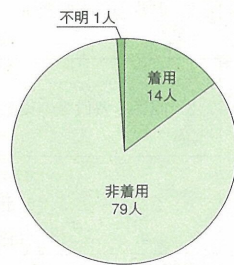
①歩行者の死亡事故



交通事故は私たちの身近な社会問題となつています。家族みんなで交通事故をなくすために話し合いましょう。
グラフは歩行者と自転車の死亡事故の内、年齢別に比較してみました。お年寄りの比率が非常に高くなつています。(図①・②)

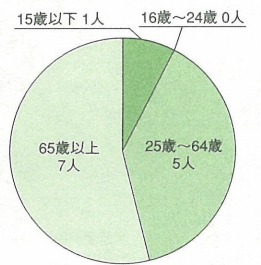
- 【お年寄りの特性】
- とっさの判断や行動が遅れがちになります。
 - 危険の発見や回避が遅れがちになります。
- そのため時間的に余裕のある行動が必要で、
- 【子供の特性】
- 一つのことには気が向くと、周囲の安全を考えずとび出しがちです。
 - どんどこでも遊び場になります。
 - 大人にくらべて視点が低く、視野が狭くなります。また、大人のまねをよくしますので交通ルールの正しい手本を示してください。

③自動車乗車中死亡者のシートベルト着用状況



自動車乗車中は必ずシートベルトを着用しましょう。シートベルトをしめていれば七十九人は助かった可能性があります。(図③)

②自転車による死亡事故



保育所の園庭を開放しています

保育所	日時	10月	11月	12月
精道【タンポポひろば】 ☎32-0510	第1・3木曜 10:00～11:30	2日、16日 エプロンシアター	6日、20日 どんぐりで遊ぼう	4日、18日 クリスマスツリーの飾りをつくる
大東【おてんきひろば】 ☎22-0089	第1・3木曜 10:00～11:30	2日、16日 サーキット	6日、20日 フォークダンス	4日、18日 ペープサート
打出【あそびのおいで】 ☎22-5725	第2・4木曜 10:00～11:30	9日、23日 体育遊び	13日、27日 秋の自然物で遊ぼう	11日、25日 手遊び体操
岩園【げんきっこ】 ☎31-0335	毎月1回 10:00～11:30	4日(土) 9:00～11:15 運動会	28日(金) ごっこ遊び	16日(火) クリスマスツリーの飾りをつくる
緑【どんぐりひろば】 ☎34-0715	毎月1回 10:00～11:30	4日(土) 9:00～11:30 運動会	5日(水) 体育遊び	3日(水) 紙芝居

※雨天のときは中止します。

※「交通事故統計」(兵庫県警察本部発行)より。数値は平成九年一月一日から六月三十日までの県内確定数

今後の行政改革にむけて
市長からのメッセージ 22

震災関連事業を重点的に実施している本市の現状と交付税制度とは、あまりにもかけ離れていると言わざるを得ません。▽市では震災後、震災復興計画に基づき、土地区画整理事業、街路事業、公園整備事業など快適で安全なまちづくりを推進しています。この復興には、短期に多額の費用が必要となり、財源不足が生じます。このため、昨年には、行政改革緊急三カ年実施計画を策定し、事務事業の見直し、経常経費の節減、財政の効率的運営など多くの行政改革に取り組みました。その結果、平成八年度には、市民の皆さまのご協力により、計画額を四億円上回る百二十七億円を節減することができました。しかし、平成十七年度までの、復興計画全体では、行政改革などによる財源の見直しを行い、また、約一千億円の市債を抱えても、なお百二十八億円の財源が不足します。▽この八月も、西宮、宝塚両市の市長とともに国に対して財政支援を求めてまいりましたが、今後も強く国に財政支援を求めていくとともに行政改革に積極的に取り組み、一日も早い復興に努めてまいりますので、市民の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

芦屋市長 北村 春江

本市は、豊かな市税収入に支えられ、全国有数の富裕都市として発展してまいりました。しかし、この度の大震災により、市税収入が大幅に落ち込み、平成八年度には、現行の交付税制度が施行された昭和二十九年以来初めて、「普通交付税の交付団体」となりました。ところが、今年度は、個人市民税の雑損控除が減少したことや震災減免が終了したことなどから市税収入が若干回復したため、不交付団体に戻りました。このことは、財政的に余裕ができたかのように受け止められがちですが、実際はそうではありません。▽交付税制度は、地方団体間の財源の不均衡を調整し、全ての団体が一定の水準を維持できる財源を保障するという考えから、一定の合理的な基準によって再配分することになっており、短期かつ多額の財源を必要とする震災という特殊事情は、あまり考慮されない仕組みとなっています。



モンテベロ市庁舎前にて

平成9年度 中学・高校生海外派遣事業

今年度の市立中学・高校生の海外派遣は7月24日から8月8日の16日間、昨年と同様に姉妹都市モンテベロ市訪問とカリフォルニア州フレズノ市でのホームステイを中心に行いました。

言葉も文化も生活様式も異なるアメリカの地方都市での毎日の生活が、彼らをどう刺激し、何を与えてくれたのでしょうか。

E·D·U·C·A·T·I·O·N

教育のページ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

◆現地の英語学校で

(田中) ホームステイ期間中の英語学校の授業と課外活動、ヨセミテ国立公園の雄大な大自然の中で二日間、モンテベロ市訪問などとても素晴らしい体験をさせていただき、私たちはとても感謝しています。

特に、日本とは環境の違う中で英語の授業を受けることができたこととても良い経験になりました。

英語学校での授業は、テキストを使わずにすべて英語で行われました。最初はとまどいもありましたが、担当のリー先生は私たちの英語にも耳を傾け、熱心に聞いてくれ、とても楽しく授業を受けることができました。

(渡辺) 英会話学校では新しい単語を覚えるときに絵に表したり、ゲームをしたりしてとても楽しく、最後の授業のあと、ずっと私たちを教えてくれた担当の先生と別れるとき、悲しくて泣いてしまったほどでした。

たった二週間という短さだったけれども、アメリカという心もサイズもビッグな国でのさまざまな体験は、私の人生にとってかけがえのない思い出となりました。

◆ホストファミリーとのふれあいの

(吉田) この十六日間、一番いい思い出になったのは、やはりホストファミリーと一緒に楽しく生活できたことです。「言葉が十分通じなくてもお互いに仲良くなるという気持ちがあれば、心は通じるんだ」と実感しました。

*派遣された生徒たち

- 田中麻美子 (市芦高3年)
- 安井直子 (市芦高3年)
- 吉田 紘子 (精道中3年)
- 渡辺理恵子 (精道中3年)
- 志村 由 (山手中3年)
- 鈴木 智子 (山手中2年)
- 高橋 真理 (潮見中3年)
- 藤巻 彩 (潮見中3年)

*引率者

- 渡邊 吉王 (指導主事)
- 大麻 瑞枝 (山手中教諭)

また、みんなとてもやさしく、フレンドリーでした。これは私が日本でも見習っていききたいアメリカの良いところの一つです。ホストファミリーとは、また来年の夏、会う約束をしました。実現できるようにがんばります。

(高橋) 出発まで、自分が勉強してきた英語が実際に現地で通用するかどうか、楽しみと不安が織り交ざっていました。最初は戸惑いでしたが、慣れてくると、一つ一つの単語や文にこだわらないで、聞き取れた単語から周りの状況などを判断できるよ

うになり、相手が何を言っているのかがわかるようになりました。特にホストファミリーの子どもたち、クリスとマッシュは他の人の話す英語を易しく言い直してくれたりして、私にとっても素敵な英語の先生でした。これを機会にお互いに英語と日本語を教えあっていたらうれしいと思います。

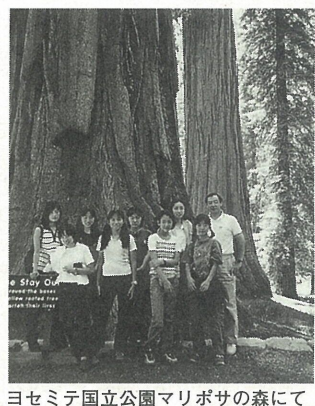
◆生活の中から見たアメリカ

(鈴木) アメリカでは、初めての人でもお互いに気軽に話しかけることがとても多くあります。いろいろな人と話をしましたが、ある日バスで隣になったおじさんと話をすることがありました。話をしている時は、

気がつかないのですが、そのおじさんは車椅子に乗っていました。フレズノでは体の不自由な人が他の人の手を借りずに一人でバスに乗ることができません。日本には、このよ

うなバスが少ないので、体の不自由な人もバスに乗れるような工夫が多くほしいと思います。

(志村) 今回はアメリカのほんの一部しか見ていないけれど、イエス、ノーなど、自分の意思表示をはっきりしないと相手にきちんと理解してもらえないことや、食生活などでは特に手間をかけないで



ヨセミテ国立公園マリボサの森にて

手際よくすることの方を大切にすることができるようになる。文化の違いを直接肌で感じることもできたこととても素晴らしいと思います。

これを機会に、もっとたくさん英語や日本の文化を勉強して、またアメリカや他の国々でいろいろな経験を、すごく広い視野で物を見られる人間になりたいと思います。

(藤巻) フレズノでの生活で一番印象に残っていることは、何においてもスケールが大きいということと人々の笑顔です。ホストファミリーをはじめ、誰もがいつでもスマイルで私と接してくれました。それから、自由なアメリカといわれているけれど、日本の自由とは違うな、と思いました。それは、人々はルールをしっかり守った上で、責任を持った行動をしているように思えたからです。こういったことすべてが私の、将来に向けての良い勉強になるようにしたいと思います。

(安井) 私は、今回の体験を通して、英語はもちろんのこと、生活の中で初めて見えてくる文化や思想の違いをたくさん見ることができました。

アメリカは「自由の国」というイメージが、私の中にはありました。でも、それは少し違ったもので、個人の自由が成り立つにはその人の個性を尊重することから始まり、自由とは秩序があつてこそ成り立つものというところがわかりました。

この海外派遣で私が経験したことをこれから私の生活の中でどう生かすか、それが今の私の課題です。

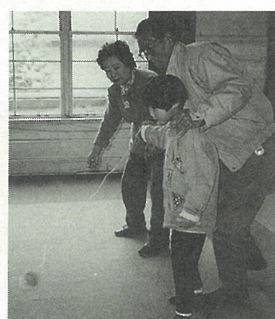
学校園だより

地域とのふれあい

山手小学校

山手小学校では、平成3年度、県の「ボランティア協力校」の指定を受け、さまざまな福祉体験活動を行ってきました。中でも、学校行事や招待給食を中心に行っている高齢者の方々とふれあいは、子供たちが進んで取り組んでいる活動の一つです。運動会や作品展では、地域の独り暮らしの方や高齢者の方々にも参加していただく、子供たち一人ひとりが心を込めて招待状を作ります。それを、地区の福祉推進委員さんが配布して下さいます。運動会のくす玉割りなど、高齢者の方々や子供たちが一緒に楽しみ、ほのぼのと温かい雰囲気が校庭にあふれました。また、作品展では、テーマやがんばった所の説明をする子供たちに、うなずいたり、大きな拍手をおくるなごやかな様子が見られました。

招待給食でも、子供たちが中心になって、招待状作りから、案内、準備、そして、一緒に給食をいただいた後のふれあいタイムの計画も行います。昨年度は、PTA地域の高齢者の方を含めて50名をお招きしました。給食後のふれあいタイムでは、ゲームや折り紙、俳句、百人一首など、クラス毎にアイデアを生かしたプログラムで地域の方々と温かい交流ができました。こうした地域の高齢者の方々とふれあいは、今後、伝承遊びなどを高齢者から学ぶ機会へと広がり、子供たちの心豊かな成長につながっていくことと思います。



ふれあいタイムでの交流

命にふれる体験を

伊勢幼稚園

「うさぎの赤ちゃんはお口が小さいから、野菜を小さく切らなくては…」包丁を手に野菜を切る子ども達の姿は、頼もしい限りです。こうして、幼稚園の朝一番は、生き物の当番が始まります。そして、園庭の草花への水やりが始まります。顔を汗でいっぱいしながらも何度も何度も水やりをする子供たち。そんな時、なんとなくうさぎが水浸しになってしまったのです。「どうしたの？」とたずねると、「うさぎさんがあつそうだったから…」という声が返ってきました。この暑さに、うさぎを少しでも涼しくしてやりたいと思う子ども心からでした。大人から見れば驚くようなことでも、子供たちは自分の身におきかえて考えているのです。思わずうさぎに水をかけてしまった子供の心に共感しつつ、うさぎはぬれると弱ってしまうことを話しました。「うんうん」とうなずきながら大事そうにうさぎの身体をふいている子供たちの姿をうれしく思いました。

また、ある日のこと、大事に飼っていた蛙が死んでしまったのです。「蛙はあじさいの花が好きだから」という一人の子供の考えで、皆であじさいの花の根元にお墓を作りました。誰からともなく手をあわせる子供たち、生き物に寄せるあたたかい心が伝わってくるようでした。家庭では、生き物とふれる機会の少ない子供たち。幼稚園では、生き物の世話を通して、その命にふれ、慈しむ心を大切に育てたいと考えています。



大好きなうさぎと一緒に